



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社JMS

コード番号 7702 URL <http://www.jms.cc/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 奥窪 宏章

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長

(氏名) 遠藤 正樹

TEL 082-243-5844

四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日

配当支払開始予定日

平成26年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	26,249	2.1	46	△76.5	143	△67.8	72	△63.8
26年3月期第2四半期	25,714	7.4	196	△80.3	444	△62.5	200	△71.7

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 210百万円 (△71.1%) 26年3月期第2四半期 727百万円 (100.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	1.49	—
26年3月期第2四半期	4.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第2四半期	55,070		30,640		55.4	
26年3月期	53,222		30,619		57.4	

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 30,530百万円 26年3月期 30,526百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
27年3月期	—	4.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	2.1	700	△22.3	800	△32.7	450	116.9	9.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	49,466,932 株	26年3月期	49,466,932 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	707,031 株	26年3月期	702,455 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	48,761,958 株	26年3月期2Q	48,770,297 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く環境は、海外においては、新興国を中心に医療市場の成長が続き、現地及び各国メーカーによる競争も激化しています。また、国内においては、政府の政策と相俟ってヘルスケア分野への新規市場参入の動きが活発化する一方で、少子高齢化の進展、国家財政及び医療保険財政の深刻化を背景に、医療現場を支える観点から診療報酬は引き上げるものの、薬価・材料価格は引き下げ、医療費全体の伸びを抑える医療政策が継続しています。

このような環境の中、当社グループは、「患者様第一主義」の企業理念に基づき、お客様に感動を与える製品とサービスの提供を目指し、「医療の安全」、「医療の効率化」、「再生医療」、「医療を必要とする方のQOL(クオリティ・オブ・ライフ)の向上」をキーワードとして、販売品目を4つのシステム群に分類し、輸液輸血群及び一般用品群では、医療の安全に貢献する輸液及び経腸栄養関連製品を、透析群では、医療の効率化に資する血液透析及び腹膜透析の両分野の製品を、循環器群では、膜型人工肺、人工心肺回路等の高付加価値製品を中心に、製品の開発・生産・販売を進め収益拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、円安による為替換算の影響も加わり、前年同四半期に比べ5億34百万円増加の262億49百万円（前年同四半期比2.1%増）となりました。

利益につきましては、販売費及び一般管理費の効率的な運用に努めたものの、国内での償還価格引き下げの影響を受け、営業利益は46百万円（前年同四半期比76.5%減）となりました。また、持分法による投資利益を計上したこと等により、経常利益は1億43百万円（前年同四半期比67.8%減）となり、投資有価証券売却益や税金費用等を加減した結果、四半期純利益は72百万円（前年同四半期比63.8%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

血液透析装置や人工心肺回路の販売は好調に推移したものの、人工心肺装置の販売が減少したため、売上高は193億36百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。また、セグメント損益については、人件費や労務費の低減を図ったものの、償還価格引き下げ等の影響により、前年同四半期に比べ3億77百万円減少の1億89百万円の損失となりました。

② 東南アジア

欧米向けのAVF針（血液透析用針）の販売が増加したため、売上高は86億34百万円（前年同四半期比1.0%増）となりました。また、セグメント損益については、労務費の増加等により、前年同四半期に比べ75百万円減少の90百万円の損失となりました。

③ 中国

欧米向け及び中国国内向けのAVF針の販売が引き続き伸長したため、売上高は18億97百万円（前年同四半期比10.1%増）となりました。また、セグメント利益については、増収の効果により黒字となり、前年同四半期に比べ1億93百万円増加の1億11百万円となりました。

④ ドイツ

EU圏におけるAVF針の販売が好調に推移したため、売上高は16億48百万円（前年同四半期比19.2%増）となりました。また、セグメント利益については、為替による円建ての仕入金額減少により1億87百万円（前年同四半期比66.8%増）となりました。

⑤ アメリカ

中南米向けの血液バッグの販売が減少したため、売上高は13億46百万円（前年同四半期比1.5%減）となりました。また、セグメント利益については、減収の影響に加え、前年同四半期における所有株式の配当金受取が当第2四半期連結累計期間になかったため、50百万円（前年同四半期比54.5%減）となりました。

⑥ その他

売上高は8億73百万円（前年同四半期比13.4%増）、セグメント利益は55百万円（前年同四半期比256.1%増）となりました。

なお、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ18億48百万円増加の550億70百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ9億57百万円増加の317億23百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の増加であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ8億90百万円増加の233億47百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の増加であります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ6億65百万円減少の176億76百万円となりました。この主な要因は、短期借入金の減少であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ24億93百万円増加の67億54百万円となりました。この主な要因は、長期借入金の増加であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ20百万円増加の306億40百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定の変動によるものであります。

なお、自己資本比率は2.0ポイント低下の55.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前年同四半期末に比べ6億8百万円減少の33億43百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、前年同四半期に比べ5億2百万円増加の11億49百万円となりました。この主な要因は、法人税等の支払額が減少したためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、前年同四半期に比べ11億97百万円減少の13億77百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得にかかる支出の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、前年同四半期に比べ19百万円減少の16億19百万円となりました。この主な要因は、借入金の収支差額によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月8日付けの「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表しました平成27年3月期(通期)の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「平成27年3月期第2四半期連結累計期間における業績予想との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、ジェイ・エム・エス・ヘルスケア・フィリピン, I N C. を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,997	3,345
受取手形及び売掛金	16,211	15,442
商品及び製品	5,608	6,420
仕掛品	2,330	2,219
原材料及び貯蔵品	3,668	3,490
その他	957	813
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	30,766	31,723
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	6,095	7,085
その他(純額)	12,060	11,581
有形固定資産合計	18,156	18,667
無形固定資産	730	698
投資その他の資産		
投資その他の資産	3,573	3,985
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	3,569	3,981
固定資産合計	22,456	23,347
資産合計	53,222	55,070

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,705	7,394
短期借入金	4,681	3,923
1年内返済予定の長期借入金	1,363	1,594
未払法人税等	314	168
製品保証引当金	9	8
賞与引当金	1,040	1,059
その他	3,226	3,527
流動負債合計	18,342	17,676
固定負債		
長期借入金	2,632	5,039
役員退職慰労引当金	71	67
退職給付に係る負債	472	519
資産除去債務	246	253
その他	839	875
固定負債合計	4,261	6,754
負債合計	22,603	24,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	10,362	10,362
利益剰余金	12,504	12,382
自己株式	△274	△276
株主資本合計	30,003	29,880
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	354	361
為替換算調整勘定	169	289
退職給付に係る調整累計額	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	523	649
少数株主持分	92	109
純資産合計	30,619	30,640
負債純資産合計	53,222	55,070

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	25,714	26,249
売上原価	19,147	19,804
売上総利益	6,567	6,444
販売費及び一般管理費	6,371	6,398
営業利益	196	46
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	51	16
持分法による投資利益	95	111
為替差益	140	—
その他	55	68
営業外収益合計	345	198
営業外費用		
支払利息	33	51
為替差損	—	27
支払手数料	46	10
その他	17	12
営業外費用合計	98	101
経常利益	444	143
特別利益		
固定資産売却益	2	11
投資有価証券売却益	—	156
特別利益合計	2	168
特別損失		
固定資産売却損	3	3
固定資産廃棄損	35	15
投資有価証券評価損	9	—
特別損失合計	48	18
税金等調整前四半期純利益	398	292
法人税、住民税及び事業税	159	167
法人税等調整額	34	42
法人税等合計	194	209
少数株主損益調整前四半期純利益	204	83
少数株主利益	3	10
四半期純利益	200	72

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	204	83
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67	6
為替換算調整勘定	455	119
退職給付に係る調整額	—	0
その他の包括利益合計	523	126
四半期包括利益	727	210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	718	192
少数株主に係る四半期包括利益	9	17

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	398	292
減価償却費	1,043	1,209
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	21	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	22
受取利息及び受取配当金	△55	△19
支払利息	33	51
為替差損益(△は益)	△74	28
持分法による投資損益(△は益)	△95	△111
固定資産売却損益(△は益)	0	△8
固定資産廃棄損	35	15
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△156
投資有価証券評価損益(△は益)	9	—
売上債権の増減額(△は増加)	787	895
たな卸資産の増減額(△は増加)	△565	△421
仕入債務の増減額(△は減少)	△376	△338
未払消費税等の増減額(△は減少)	6	△82
その他の流動資産の増減額(△は増加)	87	139
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△88	△74
その他	△30	11
小計	1,140	1,455
利息及び配当金の受取額	109	61
利息の支払額	△37	△38
法人税等の支払額	△564	△328
営業活動によるキャッシュ・フロー	647	1,149

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,456	△1,156
有形固定資産の売却による収入	7	12
無形固定資産の取得による支出	△108	△49
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	—	243
その他	△16	△426
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,575	△1,377
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	7,365	8,302
短期借入金の返済による支出	△6,555	△9,066
長期借入れによる収入	1,727	3,324
長期借入金の返済による支出	△702	△744
自己株式の売却による収入	0	—
自己株式の取得による支出	△2	△1
配当金の支払額	△194	△195
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,638	1,619
現金及び現金同等物に係る換算差額	89	△43
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△200	1,347
現金及び現金同等物の期首残高	4,152	1,995
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,952	3,343

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本	東南 アジア	中国	ドイツ	アメリカ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	17,367	4,180	646	1,383	1,367	24,944	770	25,714
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,014	4,366	1,077	0	—	7,458	—	7,458
計	19,381	8,546	1,724	1,383	1,367	32,402	770	33,173
セグメント利益 又は損失(△)	188	△14	△81	112	111	315	15	331

(注)「その他」の区分は、国内子会社及び韓国の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	315
「その他」の区分の利益又は損失(△)	15
セグメント間取引消去	44
持分法投資利益又は損失(△)	96
その他の調整額	△28
四半期連結損益計算書の経常利益	444

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本	東南 アジア	中国	ドイツ	アメリカ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	17,291	4,331	759	1,646	1,346	25,375	873	26,249
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,045	4,302	1,137	2	—	7,487	—	7,487
計	19,336	8,634	1,897	1,648	1,346	32,863	873	33,736
セグメント利益 又は損失(△)	△189	△90	111	187	50	69	55	125

(注)「その他」の区分は、国内子会社及び韓国の現地法人並びにフィリピンの現地法人の事業活動を含んでおりません。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	69
「その他」の区分の利益又は損失(△)	55
セグメント間取引消去	△163
持分法投資利益又は損失(△)	110
その他の調整額	69
四半期連結損益計算書の経常利益	143